



## 2011 年度 未踏 IT 人材発掘・育成事業 採択案件評価書

### 1. 担当PM

首藤 一幸 PM  
(東京工業大学 大学院情報理工学研究科 数理・計算科学専攻 准教授)

### 2. 採択者氏名

チーフクリエイター: 田村 佳也  
(フリー)

### 3. 委託金支払額

1,792,000 円

### 4. テーマ名

条文の部品化による契約書再利用プラットフォームの開発

### 5. 関連Webサイト

<http://www.fude-bako.com/keiyakusyoo>

### 6. テーマ概要

作る側にも、読む側にも「契約書」は実に難解なものである。そのため大部分の人は、ハンコを押す前に内容を理解するのに苦労している。また当事者間の信頼関係を尊重し、波風を立てるような交渉は避けられ、契約が形骸化してしまうことも少なくないはずである。

そこで本提案では、より合理的に契約書を作成、理解、交渉、再利用できるシステムを提案する。このシステムは、契約書の難解な「言い回し」にとられる事無く「パラ

メータ」を検討することで、契約の速度と精度を向上させる。

作成する側は「契約書作成フォーム」にその契約のパラメータを設定することで、契約書を出力することができる。また同時に出力される「契約説明書」が契約の要点となるパラメータとその意味を解説し、読む側の理解を助ける。そして「交渉プラットフォーム」上にて、その契約書にいかなるパラメータが設定されるべきか、当事者間で調整を行うことができる。

このシステムを利用することで、契約が「責任の押し付け合い」から「信頼関係深めるプロセス」になるような、そんなプラットフォームを目指し開発したいと考える。

## 7. 採択理由

契約書の「作成」、内容「確認」、契約書を用いた「交渉」や調整を容易にする Web サービスの提案である。

雛形を元に素早く契約書を作れるようにする。当事者が内容を素早くクリアに理解でき、迅速に調整できるようにすることで、ともすれば不信の温床となる契約というものを、信頼関係を深めるプロセスとすることを目指す。

中長期的には、契約書・法律・判例は読みにくいという問題を解決すべく、各所が参照し合って絡み合っている文章を構造化・整理する方法も考えていく。

社会に一石を投じられる提案である。私も欲しい。開発の腕には何ら不安はないが、現場で使えるものまで至ることができるかは未知数である。楽しみにしている。

## 8. 開発目標

契約は、契約しようというところまでは機会(+)を活かす目的であっても、では契約書を作成しようという段になると、紛争を防ぐ、罟・落とし穴に陥ることを防ぐ、といったリスク(-)抑制という側面が強くなる。本プロジェクトの目標は、契約書を理解容易な形で作成・共有していくことで、当事者間の疑念・不安(-)を低減し、機会(+)に専念できるようにすることである。

そういった契約書案作成を支援するネットサービスを開発し、提供する。利用者は、事前に用意されている契約書案フォーム(ひな形)に必要な事項、つまり、契約ごとのパラメータを記入するという形で契約書案を作成していく。フォームからの変更点、つまりパラメータは、契約説明書という形で別途まとめられ、そこにはその契約固有の事項がまとめられて一覧できる、ということになる。

契約書案フォームの作成も、ネットサービス経由で行う。これは例えば、法務サービスの提供者がフォームを作成、提供し、そのフォームを使って作成された契約書案をチェックする、といったビジネス形態を想定したものである。

他に、長期的には、当事者が対話しながらネット上で契約書案を更新していく対話プラットフォームの開発も、目標としている(今回は開発対象外)。

## 9. 進捗概要

目標としていた契約書案作成ネットサービス、フォーム作成ネットサービスを開発し、提供開始した。フォームは、内部的には、他のフォームやその一部を再利用して作成できるようになっている。これは、契約書や法律はコンピュータのプログラムと似ている、というクリエイターの直観を反映したものである。契約書や法律をプログラムの世界で言うところのオブジェクト指向の道具立てを使って表現できるかもしれない、という着想を反映している。

また、当初は予定していなかった多言語間相互変換機能を開発した(サービスとしては未提供)。これは、契約書案を複数の言語で提供するものである。

顧客紹介料に関する契約書 出来上がる契約書を確認する

契約日  
契約日: (2012/8/20)

前文  
依頼者:   
紹介者:

第1条 目的 設定項目なし

第2条 報酬  
報酬条件: -    
1顧客あたりの報酬:  円(税込)   
支払方法: 乙は当月末締で翌月5日までに請求書を発行し、甲は請求書を受領した月の末日までに、乙の指定した口座に振込にて支払うものとする。その際、振込手数料は甲の負担とする。  
報酬の変更: -

第3条 契約期間  
契約期間: 3ヶ月   
自動延長有り:

図: 契約書案作成フォームの例

**設定項目一覧** (2012/08/20 06:09 出力)

この契約書は、fude-bako.com 03.契約書により作成されたものです。03.契約書は、既定の条項フォーム上に値を設定することで文章を生成しているため、契約書案の検討を行う際は、設定されている値についてよく確認したうえで、変更を検討することが望ましいでしょう。下記の表にて、重要な設定項目を一覧することができるので、概要の確認に役立ててください。

パラメーター名	設定値
(契約日) 契約日	2012年8月20日
(前文) 依頼者	依頼者太郎
(前文) 紹介者	紹介者花子
(報酬) 報酬条件	紹介あたり報酬
(報酬) 1顧客あたりの報酬	5000円(税込)
(報酬) 支払方法	乙は当月末締で翌月5日までに請求書を発行し、甲は請求書を受領した月の末日までに、乙の指定した口座に振込にて支払うものとする。その際、振込手数料は甲の負担とする。
(報酬) 報酬の変更	両者協議の上変更
(契約期間) 契約期間	3ヶ月
(契約期間) 自動延長有り	×
(秘密保持義務) 義務を負う当事者	依頼者
(契約解除及び期限の利益喪失) 解除可能な当事者	依頼者のみ可能
(契約解除及び期限の利益喪失) 催告の有無	催告無し
(合意管轄) 管轄裁判所	東京地方裁判所

※上記表は、簡易的な確認に利用してください。最終的な確認は、契約書の本文の文面をきちんと精査するようにしてください。

図: 契約説明書の例

## 10. プロジェクト評価

まず、契約書案作成という、ともすると負の事柄にばかり気をとられて気持ちが暗くなりがちな行為を、クリアで明快なものにしたい、という考えに強く賛同した。そのための道具立てとして、今回開発できたネットサービスで充分かという、まだ足りないものはあり、また、ネットサービスとして提供すればそれで世の中が変わる、というものでもない。しかし、今回の開発で、クリエイターのこの考えを世に問うて実験をしていくための土台はできた。クリエイターは、それを使ってどういうビジネス(価値提供と対価獲得)ができるかを試し始めている。

## 11. 今後の課題

利用者の獲得活動と、そのためのネットサービスの改変・改良を続けていくこととなる。その際、契約書作成という行為を変えたい、という当初の志をたまに思い出すと、進む方向を間違えずに済むだろう。